

授業科目名 <英訳>	地球テクトニクス II Geotectonics II				担当者所属・ 職名・氏名	理学研究科 助教 理学研究科 教授	堤 昭人 田上 高広				
配当 学年	4回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 前期	曜時限	火3	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
科目番号	4541										
【授業の概要・目的】											
(授業の概要・目的) 岩石，地層に記録された変形の履歴を読み取るために必要とされる岩石変形に関する基礎的な事項を，天然や実験で形成された変形の実例を示しながら講述する。											
【到達目標】											
露頭スケールから顕微鏡スケールまで様々な規模で発達する岩石変形構造，変形組織の特徴やその形成機構に関する基礎的事項を学習し，野外，室内における変形組織の解析からいかにして変形の様式，履歴にまつわる情報を読み取ることができるのかを理解する。											
【授業計画と内容】											
(授業計画と内容) 岩石，鉱物の変形組織は，地質体の大きなスケールにおける変形や変成作用の様式，機構，履歴などに関する多くの重要な情報を含んでいる。この講義では，露頭スケールから顕微鏡スケールまで様々な規模で発達する変形構造，変形組織の特徴やその形成機構に関する基礎的事項を学習し，野外，室内における変形組織の解析からいかにして変形の様式，履歴にまつわる情報を読み取ることができるのかを理解する。以下の話題についてそれぞれ1～2週の講義をする予定である。 (1) 岩石の変形構造形成（変形構造の認識） (2) 岩石の変形組織形成（変形組織の認識） (3) 脆性変形 (4) 延性，塑性変形 (5) 変形機構 (6) 岩石の破壊基準，摩擦則 (7) 岩石の流動則 (8) 岩石変形における水の影響 (9) 固体地球のレオロジー (10) 変形実験											
【履修要件】											
構造地質学を履修していることが望ましい。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点評価（20点），試験（80点）により評価する。 平常点評価には，出席状況，複数回課すレポートの評価を含む。 レポートについては到達目標の達成度に基づき評価する。											
【教科書】											
使用しない 必要に応じてプリントを授業中に配布する。											
----- 地球テクトニクス II(2)へ続く -----											

地球テクトニクス II(2)

[参考書等]

(参考書)

狩野謙一・村田明広 『構造地質学』 (朝倉出版)

パスキエ・トゥロウ 『マイクロテクトニクス 微細構造地質学』 (Springer)

金川久一 『地球のテクトニクス 構造地質学』 (共立出版)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

授業スケジュールの進行状況に応じ、レポート課題などを通じて学習すべき内容を指示する。

(その他 (オフィスアワー等))

授業終了後に質問を受け付ける

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。